



左：ニューベックのデータの上に、国土地理院発行の地図や航空写真のデータを重ね合わせていく。正確で最新のデータは、地道な作業の上に成り立っている
上：(一財)日本水路協会は、羽田空港第一綜合ビル6階(東京モノレール 整備場駅から徒歩1分)にある

ニューベック(PC版の場合)の最大の特徴の一つが、購入後も最新の情報へのアップデートを随時行うことができる点にある。日本全国の海岸線や水深(等深線)、港湾情報などを網羅するニューベックだが、例えば掲載されている情報自体が、工事などによって変化していることもある。最新の情報が載っていない海図や参考図を使ってナビゲーションしたら……ときには大きな事故にもつながりかねない。

PC版のニューベックでは、購入後、年4回(1月、4月、7月、10月)、最新のデータへのアップデートが可能。購入から1年間は無料で、以後は「3年バージョンアップ」を購入することで、3年

間継続して最新データを利用できる。

*

そのアップデート作業を行っているのが、日本水路協会 電子出版部の4人のメンバーだ。部長の若松昭平さんは、次のように話す。

「私たちの業務の中心は、ニューベックに収められたデータにアップデートを行う作業です。そのもととなる第一が、海上保安庁 海洋情報部が毎週発行する『水路通報』の情報です。ここには、海図に変更を加えなければならない箇所が記載されていて、ときには補正図が添付されている箇所もあります。この情報を更新するのが「改補」という作業で、ニューベックにおいても、まず

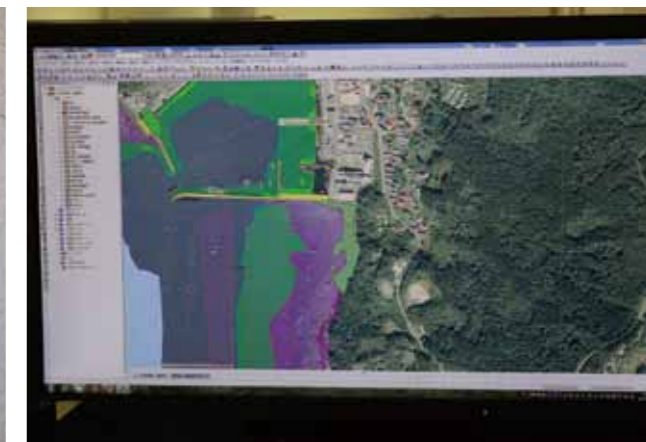
は水路通報の更新情報を反映させることが最優先になります」

日本全国の海岸線を網羅しているニューベックでは、1回(1週)の修正箇所が数十カ所に及ぶこともザラ。しかも、ここで記載される変更情報は、あくまでも基本的なものにすぎず、それ以外のアップデート作業こそが業務の大半を占めると、若松さんは話す。

「海図は基本的に大型船向けに作られており、小型船に特化したニューベックでは、『水路通報』だけでは変更箇所をカバーしきれません。そこで、全国各地の自治体などから、港湾に関する工事情報などを集めることが重要です。また、



ニューベックのデータを、陸上の地図(国土地理院発行)のデータと重ね合わせたところ。二つのデータに相違点がないかをチェックする



陸上の地図データだけでなく、航空写真なども活用。いくつものデータを使って、ニューベックのデータを検証していく

ニューベックのユーザーから、例えば「ここに〇があった」「□□港の入り口の新しい堤防が載っていない」というような声を直接いただくことも多く、そういった生の情報も随時アップデートしています」

驚くことに、アップデートのための情報源は、これらにとどまらない。そこでは、終わることのない作業が日々続けられている。

「外から得た情報だけで全国の海岸線の変化を知りうることは、実質上不可能でしょう。カバーできない場所に関しては、ニューベックのデータの上に国土地理院地図や契約した民間会社の航空写真などの画像を、ひたすら重ね合わせていきます。すると、例えば新しい防波堤が写真に写っていたり、港の形が変わっているというような場所が見つかる。ひたすら重ね合わせる作業を続けているのです」

デジタルツールであるニューベックだが、アップデート作業の大半は人間による作業に委ねられている。果てしない作業の結果が、高いクオリティのデータに結実している。

「ニューベックは、命に関わる安全に直結するデータです。だからこそ、間違った情報があったらならず、常に最新の正しい情報を掲載しなければならない。さまざまなデジタルチャートがありますが、ニューベックは、日本の海を走る上でナンバーワンの精度を誇る製品だと自負しています」



左：週1回発行される「水路通報」をまとめたファイルを見せてもらった。修正に関する細かな情報が、ぎっしりと書き込まれている

右：日本水路協会 電子出版部部長の若松昭平さん。「ユーザーの安全を考えると、正しく最新のデータでなければいけない。だからこそ、非常に責任のある仕事です」と話す

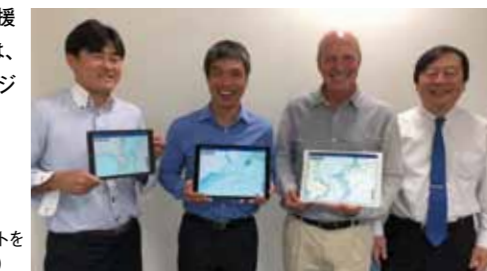
NEWS 太平洋横断に挑戦する岩本光弘さんをニューベックでサポート!

2013年に幸坊治郎さんと太平洋横断にチャレンジするも、無念のリタイアとなった全盲セーラーの岩本光弘さん。しかし、太平洋横断への夢はあきらめがなく、ダグラス・スミスさんというパートナーを得て、2019年2月末にサンディエゴを出発し、福島県の小名浜港を目指して再び太平洋横断に挑む。

そんななか、40ftのヨット「ドリームウィーバー」による二人の航海を、ニューベックでサポートすることが決まった。日本水路協会とマップル・オンでは、モバイル用アプリ「ニューベックスマート」を無償提供し、二人のチャレンジを応援する。航海の終盤となる日本近海では、心強い味方となるはずだ。ホームページも、ぜひチェックしていただきたい。

公式ページ「Voyage of Inspiration」
<https://voyageofinspiration.com/>

ニューベックスマートが表示されたタブレットを手にする岩本さんとスミスさん(中央左から)



常に最新で正確なデータをユーザーに届けるためにニューベックを支える現場をのぞく

広がるニューベックファミリー

(一財)日本水路協会が発行する航海用電子参考図「ニューベック」。各種船用機器のマップデータとして導入されるほか、スマホ&タブレット向けアプリも登場し、「ニューベックファミリー」として多くのユーザーに認知されている。今月は、そんなニューベックを支える現場を訪問。どのように最新データが維持されているのか、裏話を伺った。

航海用電子参考図「new pec」

JHA(一財)日本水路協会

ニューベックファミリー

